

平成20年度1月補正予算の概要

1 月補正予算の編成方針

1月補正予算は、世界的な景気後退に伴い県内の雇用情勢が急激に悪化していることから、国の2次補正予算案も踏まえつつ、先行して県独自の総合的な雇用対策を講じるために必要な経費について対応した。

2 補正予算の規模

以上の方針により編成した1月補正予算の規模は、

一般会計 267百万円

(累計額 1131924百万円)

特別会計 125百万円

(累計額 438579百万円)である。

1月補正予算までの20年度の一般会計予算累計額は、19年度同期比口%の減である。

3 補正予算の財源

一般会計補正予算の財源は、

一般会計 207百万円

(累計額 845037百万円)

特別会計 60百万円

(累計額 286887百万円)である。

財源の内訳は次のとおりである。

(1) 繰越金 207百万円

(累計額 3292百万円)

19年度の決算の確定により生じた純繰越金60億8653万円から予算計上済額30億8450万円を差し引いた30億203万円のうち、2億700万円を計上する。

(2) 繰入金 60百万円

(累計額 31927百万円)

地域福祉基金繰入金800万円、森の力再生基金繰入金5200万円を合わせた6000万円を計上する。

4 主要事業

<緊急雇用対策>

370百万円

世界的景気後退に伴い急激に悪化している県内の雇用情勢を踏まえ、下記のとおり緊急に県独自の総合的な対策を講じる。

1 就職支援

(1) 就職相談体制の強化

○就職相談センターの相談員の充実

・就職サポーター4人増員、通訳4人新規配置

○離職者、就職未内定者等を対象とした就職面接会の実施

(2) 職業訓練や資格取得研修の充実、拡充

○介護保険施設等が新たに雇用した離職者へのホームヘルパー2級養成研修受講料の助成

○就労している知的障害者等に対するホームヘルパー2級研修の実施及び代替職員の派遣

○離職者に対する介護職場体験の実施

○定住外国人を対象とした就労支援セミナー

2 用機会の創出

○福祉経験等のある離職者を病院で活用

・県内公的、民間病院を対象に雇用経費の一部を助成

○県有施設等の維持管理業務等

・舞台芸術公開、「遺本の森」、小笠山総合運動公園内の森林等の除間伐ほか

・県有林の下草刈り

・砂防樹林帯の間伐等

・海岸、港湾、漁場の清掃

・河川堤防の雑木、竹林等の除去

・ガードレール塗装、歩道等の清掃

・県立高等学校における樹木剪定、トイレ・側溝等の清掃ほか

・育種場における採種園の周辺整備

・森の力再生基金を活用した森林整備

・県立高等学校に在籍する外国人生徒に対する支援員の配置

・公立小中学校に在籍する外国人児童生徒に対する支援員を教育事務所に増員

- ・特別支援学校高等部生徒の就労先、職場実習先等を開拓する支援員の配置
- ・「授産製品販売促進員」の販売店舗への配置及び新規販売店の開拓
- ・富士山麓における不法投棄夜間早朝パトロール
- ・次期次世代育成支援対策行動計画策定に向けた県民県民意識調査ほか
- ・保有図書、統計資料等のデータベース化・デジタル化等

3 生活支援

(1) 住宅の確保

○県営住宅の空家を解雇等離職者用の住宅として提供するための改修

(2) 生活不安の解消

○通訳を帯同した外国人世帯への巡回連絡の充実

4 外国人支援

○就職相談センターの相談員の充実

・就職サポーター4人増員、通訳4人新規配置

○定住外国人を対象とした就労支援セミナー

○県立高等学校に在籍する外国人生徒に対する支援員の配置

○公立小中学校に在籍する外国人児童生徒に対する支援員を教育事務所に増員

○県営住宅の空家を解雇等離職借用の住宅として提供するための改修

○通訳を帯同した外国人世帯への巡回連絡の充実

<中小企業向け制度融資の拡充>

22百万円

○経済変動対策貸付融資枠の拡大に伴う利子補給

・経済変動対策貸付分融資枠

345億円→645億円

(全体融資枠: 1760億円→2060億円)